

平成 30 年 3 月 1 日
観 測 部
地球環境・海洋部

冬（12～2月）の天候

2018年（平成30年）冬（2017年12月～2月）の日本の天候は、日本付近に強い寒気の流れ込むことが多かったため、全国的に、気温が低くなりました。日本海側の降雪量は、西日本ではかなり多く、東日本は多くなりました。東日本太平洋側では、日照時間がかかなり多くなりました。

2018年（平成30年）冬（2017年12月～2月）の天候の特徴は以下のとおりです。

全国的に、気温が低かった

日本付近に強い寒気の流れ込むことが多かったため、全国的に冬の気温が低く、特に西日本では32年ぶりの寒い冬となった。

日本海側の降雪量は、西日本ではかなり多く、東日本は多かった

冬型の気圧配置がしばしば強まったため、冬の降雪量は西日本日本海側ではかなり多く、東日本日本海側は多かった。また、北～西日本日本海側では発達した雪雲が日本海から盛んに流れ込んで記録的な大雪となった所があったほか、北・東日本太平洋側でも低気圧の影響で大雪の降った日があった。

東日本太平洋側では、日照時間がかかなり多かった

冬型の気圧配置が卓越したため、冬の日照時間は東日本太平洋側ではかなり多く、西日本太平洋側でも多かった。

[別紙（概況、統計値等）\[PDF形式:437KB\]](#)

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 福重(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341（内線 4154） FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)
電話 03-3212-8341（内線 3154） FAX 03-3211-8406